

参議院選挙の争点は

貧困と格差

どうやってただすのかが問われています

日本共産党 はめざします

- ①大企業・大金持ちを優遇し、庶民を痛めつける「逆立ち」した税制をただす
- ②消えた年金問題の解決、年金、医療、介護など、社会保障の切り下げから充実に転換する
国民健康保険税の1万円引き下げ
最低年金保障制度の創設
介護保険料・利用料の引き下げ、介護サービス水準の拡充
子どもの医療費無料化を国の制度にし、小学校卒業するまで無料に
障がい者自立支援法の「応益負担」の撤廃
- ③「サービス残業」「偽装請負」などの無法をただし、人間らしい労働のルールをつくる

貧困と格差でも

憲法問題でも

民主党 は「もう一つの自民党」

格差をひろげる派遣労働の拡大に賛成し、憲法改悪でも、自民党と同じ立場。地方政治でも「オール与党」で自民党と相乗りするなど「もう一つの自民党」であることが、こんどのいっせい地方選挙でもさらにはっきりしました。

「(民主党は)政策面で与党との違いを出せなかった」
(毎日社説07年4月23日)



憲法問題

安倍・自公内閣の暴走に“待った”をかけ 9条をまもる 国民的多数派を

日本共産党

改憲の一番の狙い——
海外で戦争をする国をつくること

改憲手続き法案をゴリ押しし、任期中に憲法を変えると、危険な暴走をつづける安倍・自公内閣。その一番の狙いは、9条を変えて海外で戦争をする国をつくることにあります。



参議院議員会館で政府交渉 (06年10月25日)

農業・社会保障など
県民の声を国政に

紙智子参院議員、県内地方議員とともに政府交渉。介護、障がい者の負担軽減、農業の経営安定対策、中山間地直接支払い、猿や熊などの農産物被害の対策など実態を示し改善を求める。

「政治とカネ」
金権・腐敗と無縁

今こそ、たしかかな野党が必要です



まさゆき
さんの
横顔

小さい頃は祖父のやっていた店の手伝いで新聞配達や牛乳配達を。高校生の時、世界史を学び平和や社会史に関心をもつ。大学では「憲法を学んでみよう」と法律を専攻、学友を誘って地域のデモにもよく参加しました。

27歳ではじめて国政に挑戦してから、憲法守れ、格差社会を変えようと訴え続けてきました。
実家に帰るとピアノを弾きリフレッシュ。